

さらに、降雨終了後に轟川が平常流量に戻った時点において、機械処理水を排水した場合に、河川のSS濃度は13.1mg/Lになると想定しており、機械処理水の排水時においても河川のA類型の環境基準値（25mg/L以下）を満足していることから、環境保全の基準又は目標との整合は図られているものと評価した。